

## 20年後に実現したい姿

## 成長と交流の基盤づくり

## 【スーパー・メガリージョンの形成により新たなイノベーションが創出】

●リニア中央新幹線や北陸新幹線により、京都と全国の拠点都市が新たな国土軸で結ばれ、三大都市圏が約1時間で結ばれるスーパー・メガリージョンが形成され、産業立地、広域交流が進むことにより、京都の持つ文化、技術を生かした新たなイノベーションや価値が生み出されています。

## 【道路ネットワークの整備と道路交通の技術革新により産業が成長】

●高速道路を中心とする広域幹線道路網の整備と自動運転をはじめとする道路交通の技術革新が進むことにより、高速・省人化された物流サービスが産業拠点と全国各地を結び、府域への投資が促進され、産業が成長しています。

## 【京都舞鶴港が日本海側のゲートウェイとして確立】

●京都舞鶴港が、物流・人流の双方において、関西経済圏における日本海側ゲートウェイとして確立しています。

## 情報と暮らしの基盤づくり

## 【情報通信基盤の整備により新たな人や地域のつながりが創出】

●より多くの情報を発信・共有できる情報通信基盤が府内全域にはりめぐらされ、AI・IoT等の新しい技術の活用で、スマートなライフスタイルや地域コミュニティの維持、新たな人や地域とのつながりが生まれています。

## 【アセットマネジメントの推進によるインフラ施設の持続的な安心・安全が確保】

●AI、IoT、ロボット等、新技術を活用したインフラ施設のモニタリングと効果的なアセットマネジメントにより、持続的にインフラ施設を安心・安全に利用することができます。

## 【地域交通網の整備により新たなライフスタイルが確立】

●JR山陰本線・奈良線・片町線・関西本線等の複線化、近鉄けいはんな新線の延伸等の鉄道路線網の拡充や地域間を結ぶ幹線道路網の整備により、生活圈や通勤圏・交流圏が拡大しています。

●地域と交通結節点、医療、教育、福祉、商業施設等の生活拠点を結ぶ地域公共交通の確保とともに、自動運転や小型、低速のモビリティやシェアリング、Ma a S等、府全域で利用者の多様な移動ニーズに対応した持続可能な交通サービスが確立しています。

●全駅のユニバーサルデザイン化やキャッシュレス化が進むとともに、駅前広場整備によるアクセシビリティの向上等により、誰もが利用しやすく、安全で人に優しい、スマートな鉄道環境が整い、公共交通を中心とした、安心・安全でエコな生活スタイルが確立しています。

## 4年間の対応方向・具体方策

## 成長と交流の基盤づくり

## 道路網の整備等により、地域振興・産業観光振興につなげます。

- 1 新名神高速道路の全線開通に向けた整備の促進や、山陰近畿自動車道の兵庫県境までのルート選定等の推進
- 2 京都縦貫・京奈和・舞鶴若狭道の4車線化整備の促進や、京都縦貫のNEXCO西日本による一体管理への移行
- 3 高速道路ICアクセス道路となる、国道24号・307号、宇治木屋線、山城総合運動公園城陽線、内里高野道線等の整備促進
- 4 名神と第二京阪をつなぐ京都南JCT、京都市～亀岡市、京都市～大津市を結ぶバイパス、堀川通の新たなバイパストンネル等の整備促進
- 5 重要物流道路の指定や広域道路ネットワークの整備による災害時のネットワークの代替機能を強化
- 6 国道9号・163号等の直轄国道や国道423号・429号・175号・178号など広域連携を支援する道路整備を促進
- 7 リニア中央新幹線（名古屋～大阪間）、北陸新幹線（敦賀～大阪間）の整備の促進

**京都舞鶴港の整備を進め、関西圏唯一の日本海側ゲートウェイとして、コンテナ、フェリー、クルーズ機能を強化します。**

- 8 取扱貨物量の増加等を見据えた舞鶴国際ふ頭の整備、大型クルーズ船に対応した第2ふ頭の整備
- 9 国道27号（西舞鶴道路）、臨港道路上安久線等の道路整備を促進
- 10 前島ふ頭の整備や、日韓露国際フェリー航路の利用拡大を進め、航路の直行化をめざす

**情報・暮らしの基盤づくり**

**AI、IoTなど最新技術を活用し、豊かな地域づくりを進めます。**

- 11 自動運転など新しいサービスの基盤となりうる、5Gへの基地局の移行を推進
- 12 自動運転による新たな移動ツールの導入や自動配送による物流効率化等の成果を府内に拡大
- 13 5GやLPWAのネットワーク整備を促進し、防災、農業、インフラ管理等の分野での活用を推進

**公共インフラ施設について、計画的な予防保全型維持管理による長寿命化を進めます。**

- 14 橋梁等の計画的な補修工事等の実施と、施設情報のデータベース化により、メンテナンスサイクルを確立
- 15 非破壊検査等の新技術を活用したモニタリング等により、効率的なインフラメンテナンスの取組を推進
- 16 早期補修が必要と診断された笠置橋等約100橋、殿田トンネル等約20トンネル等の優先補修の実施等
- 17 府民協働型インフラ保全事業により、府民参画によるきめ細やかな対策を推進
- 18 京都技術サポートセンターと連携したインフラ長寿命化対策や人材育成等の推進

**鉄道網の着実な整備を進めるとともに、利用を促進します。**

- 19 JR奈良線高速化・複線化第二期事業の促進や、JR奈良線、山陰本線の全線複線化に向けた取組みとICカードの導入等による利用促進
- 20 JR片町線の高速化・複線化、関西本線の利便性向上等、鉄道ネットワークの充実強化に向けた取組の推進
- 21 京都丹後鉄道の防災・長寿命化対策を進め、輸送の安定性を向上

**地域公共交通の利便性向上と、暮らしやすいまちづくりを進めます。**

- 22 「MaaS・α促進プロジェクト」を創設し、MaaS（Mobility as a Service）など、新たなモビリティサービスを導入
- 23 道路や公園・河川などで、楽しく歩きたくなるネットワークや健康プログラム等を提供する「歩きたくなる健康まちづくりプロジェクト」の推進
- 24 JR奈良線の複線化に合わせた向島宇治線、上狛城陽線の整備や、綾部宮島線、小倉西舞鶴線、御陵山崎線等の幹線道路の整備
- 25 路線バスの維持、タクシー・自家用有償運送の活用、貨客混載等のマルチ交通等を整備し、生活交通を維持・確保
- 26 鉄道駅のホーム柵設置等安全対策や車両等での乗換案内情報の提供等、鉄道駅のユニバーサルデザイン化を推進
- 27 JR亀岡駅・向日町駅・八木駅、阪急長岡天神駅・洛西口駅等の駅周辺や城陽・八幡京田辺等高速度道路のインターチェンジ周辺の土地区画整理事業によるまちづくりの促進、関連都市計画道路の整備
- 28 市町村の立地適正化計画の策定を支援し、持続可能で安全・安心して暮らせるまちづくりを促進
- 29 地区計画策定や建築規制の緩和など、地域特性を生かしたまちづくりを市町村と連携して推進
- 30 府営住宅について、芥子谷団地、向日台団地及び城南団地等の建替を推進
- 31 民間賃貸住宅の住宅セーフティネットの取組を促進し、住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住宅を確保
- 32 鴨川公園葵地区等の府立公園や国営淀川河川公園の整備を促進